

新入生のための

鹿児島大学ガイド

CONTENTS

- 1 鹿児島大学憲章
鹿児島大学学生憲章
鹿児島大学教育目標
- 2 新入生の4月行事予定表
窓口案内

共通教育について

- 3 共通教育について
- 5 共通教育の特色
- 6 外国語教育
学習達成度を測る GPA 制度
共通教育センター長賞

大学生の基礎知識

- 7 シラバスってなに?
- 8 学生証ってどんなときに必要?
時間割を作成する前に
時間割を作成してみよう!
- 11 鹿児島大学 ID と学内の情報システム
安否確認システム (ANPIC) について
- 12 manaba を使ってみよう!
- 13 窓口・掲示板・共通教育係からのお願い

充実したキャンパスライフのために

- 15 附属図書館
男女共同参画推進センター
- 16 保健管理センター
障害学生支援センター (修学支援室)
学生何でも相談室
- 17 グローバルセンター
高等教育研究開発センター
キャリア形成支援センター
ボランティア支援センター
- 18 キャンパスウォーク

鹿大に入ったら
まず最初に読んで欲しいガイド





鹿児島大学憲章

鹿児島大学は、日本列島の南に位置し、アジアの諸地域に開かれ、海と火山と島々からなる豊かな自然環境に恵まれた地にある。この地は、我が国の変革と近代化を推進する過程で、多くの困難に果敢に挑戦する人材を育成してきた。このような地理的特性と教育的伝統を踏まえ、鹿児島大学は、学問の自由と多様性を堅持しつつ、自主自律と進取の精神を尊重し、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学をめざす。

教育

鹿児島大学は、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、幅広い教養教育と高度な専門教育を行うとともに、地域の特性を活かした進取の気風を養う。

鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理性と社会性を備え、向上心を持って自ら困難に立ち向かい、国際社会で活躍する人材を育成する。

研究

鹿児島大学は、個々の研究を重視するとともに、種々の学問分野における優れた研究者の連携により、21世紀を先導する研究者を育成する。

鹿児島大学は、地域の要請に応える研究を展開するとともに、普遍性を求める研究活動を推進し、世界水準の研究拠点をめざす。

社会貢献

鹿児島大学は、南九州を中心とする地域の産業の振興、医療と福祉の充実、環境の保全、教育・文化の向上など、地域社会の発展と活性化に貢献する。

鹿児島大学は、アジアや太平洋諸国との連携を深め、研究者や学生の双方向交流および国際共同研究・教育を推進し、人類の福祉、世界平和の維持、地球環境の保全に貢献する。

大学運営

鹿児島大学は、学長のリーダーシップのもと、全構成員が運営に責任をもって参画することにより、教育研究環境の充実を図る。

鹿児島大学は、大学の自治を礎とし、常に自己点検・評価を行うとともに、外部からの意見を積極的に反映させ、透明性の高い公正な大学運営を行うことにより、社会への責任を果たす。

平成19年11月15日制定(第58回鹿児島大学開学記念日)

鹿児島大学学生憲章

私たちは、鹿児島大学の学生であることを誇りとし、学ぶことのできる環境に感謝し、桜島のように気高く、時には激しさを持ち、自らを磨き、未来を拓いていきます。

1. 私たちは、我が国の変革と近代化を推進した先人達の「進取の精神」を継承し、困難な課題にも果敢に挑戦し、強い意志と柔軟な心を持って自己実現を図ります。
2. 私たちは、幅広い教養を身につけ、高度で専門的な知識・技能を修得し、地球的視野を持って活躍する人間になることを目指します。
3. 私たちは、サークル活動などの課外活動に積極的に参加し、仲間との友情を育み、思いやり深く魅力溢れる人間になります。
4. 私たちは、地域社会との関わりの中で、一人の人間として責任ある行動を心がけ、社会に貢献できるよう全力を尽くします。

平成22年11月15日制定(第61回鹿児島大学開学記念日)

鹿児島大学教育目標

前文

鹿児島大学は、進取の気風にあふれる総合大学として、学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め、自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。そのために次の教育目標を掲げる。

1. 幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ、諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。
2. 豊かな人間性と倫理観を身につけ、向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。
3. 地域における活動に積極的に関わり、社会の発展に貢献できる行動力を養う。
4. グローバルな視野をもち、国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

平成23年12月15日制定

2024年度 新入生の4月行事予定表

【日】

【行事予定】

1日(月)	既修得単位認定申請(17:00まで)※7月にも申請可。詳しくは共通教育係へ 技能審査合格者等単位認定申請(～22日(月)) 各種証明書発行開始
2日(火)～3日(水)	学部主催のオリエンテーション
3日(水)～25日(木)	定期健康診断<その1 Web問診>
3日(水)～4日(木)	履修申請(1回目)
5日(金)	入学式(午前)
8日(月)	履修申請(2回目)(13:00～16:00)・教室発表
9日(火)	前期授業開始
15日(月)～16日(火)	履修申請(3回目)
15日(月)～19日(金)	定期健康診断<その2 胸部X線検査>
22日(月)～25日(木)	定期健康診断<その3 Web問診の結果、該当者のみ対面診察・採血検査>



鹿児島大学公式マスコットキャラクター

さっしん

★★日本学生支援機構の奨学金について★★

採用候補者(高校在学時に予約済みの方)および、新規申込者(入学後に新規申込を希望する方)は入学後すぐに、**対応必須の手続き**があります。具体的な手続き方法は、新入生オリエンテーション(共通教育)で配付される「**奨学金を希望するみなさんへ**」に記載されています。各自熟読し、遅延の無いよう手続きを完了させてください。

(注意)最新の情報は、鹿大奨学金HPの情報を確認してください(2024年4月1日以降に掲載)

窓口案内

	事 項	担 当
修 学 面	共通教育に関する相談(履修申請、試験・成績発表、成績等開示請求及び異議申立て、既修得単位の申請・認定、通学証明書)	共通教育課共通教育係
	地域人材育成プラットフォーム	高等教育研究開発センター、教務課教育企画係
	専門教育に関する相談(オリエンテーション、学生カード等の提出、学生証の発行、履修申請、欠席届、試験・成績発表、成績等開示請求及び異議申立て、既修得単位の申請・認定、入講許可証の申込み、休学届、退学届、復学願、転学願)	所属学部・研究科の教務又は学生担当係
	入学料免除・徴収猶予、授業料免除	学生生活課経済支援係(免除担当)
	就職やインターンシップに関する情報提供・相談	キャリア形成支援センター
	奨学金(日本学生支援機構の奨学金)	学生生活課経済支援係(奨学金担当)
	海外留学に関する情報提供、留学生の在学中の諸相談	国際事業課留学生係
	障害等のある学生の修学支援に関する相談	障害学生支援センター(修学支援室)
	学業上の悩みに対する相談	学生何でも相談室、所属学部・研究科の教務又は学生担当係
生 活 面	学生寮への入寮・退寮の申込み	学生生活課学生企画係
	国際交流会館への入居・退去の申込み	国際事業課留学生係
	課外活動施設の利用願、団体結成願、課外活動に関する相談	学生生活課学生企画係
	スポーツ安全保険申込み	学生生活課学生企画係
	学生生活上の悩みに対する相談	学生何でも相談室、所属学部・研究科の学生担当係
	安否情報システム(ANPIC)	所属学部・研究科の学生担当係
	定期健康診断、診察、応急処置、こころの健康相談	保健管理センター
	ボランティア活動	ボランティア支援センター
	授業料・寄宿料納入についての問い合わせ	事務局経理課出納係、医歯学総合研究科経理係

※その他わからないことや困ったことがあれば、学生何でも相談室へ相談してください。

共通教育について

新入生の皆さん、鹿児島大学ようこそ。

さて、これから皆さんは、生徒から学生への変化を体験します。生徒というのは中学生・高校生を指す呼称で、学生というのは大学生に対して使われます。呼称が変わるだけではなく、学び方も大きく変わります。まず、学生は研究に従事するようになります。研究を適切に進めるためには、基本的なスキルを修得する必要があります。また、進級するにつれて学問の専門性をますます高めていきます。学問の専門性を高めるにあたっては、同時に幅広い教養を身につけておく必要があります。共通教育では、研究の基本的なスキルと幅広い教養の修得を目指してください。

それでは、『令和6年度入学生 共通教育履修案内』の記述に対応させ、説明していきます。『共通教育履修案内』と共に読み進めてください。

1. 鹿児島大学の教育課程と共通教育の概要

まず、**本冊子に収録されている**鹿児島大学憲章、鹿児島大学学生憲章、鹿児島大学教育目標を確認しましょう。鹿児島大学の学生になったことを自覚し、本学が育成しようとする人材像の実現に向け、意欲的に学んでほしいと願っています。

『共通教育履修案内』の**1ページ**を確認してください。学士課程カリキュラムは、共通教育と専門教育に大別されます。共通教育科目はさらに「初年次教育科目」、「グローバル教育科目」、「教養教育科目」に分かれています。

初年次教育科目は、1年次に身につけておくべき学問・研究の基礎スキル・基礎知識を取り扱っています。中でも「初年次セミナー」はIとIIが用意されており、どのような学問分野を専攻しようとも共通して必要となる引用等のスキルや協働能力の修得、プレゼンテーション、レポート等の学術文章の執筆に取り組みます。

グローバル教育科目では、まず「英語」が用意されています。また、「異文化理解入門」では複数の言語領域が取り上げられています。

教養教育科目は、「教養基礎科目」と「教養活用科目」に分けられています。教養基礎科目を学んだ後に教養活用科目に進むことを理想としますが、時間割上の制約もあるため、必ずしもこの順に学ばなくても良いこととなっています。なお、履修希望者が集中した場合には、教室の収容定員等の問題があるため、抽選となることがあります。

注意事項：時間割の作成と責任ある行動

大学では、学生自身で時間割を作り、履修申請する必要があります。履修申請する科目を決定する際には、シラバス（本冊子のP.7を参照）の記述内容の確認が必須です。授業内容・計画、必要な教科書や費用、評価基準、学習目標等を十分に理解したうえで、履修申請を行ってください。また、抽選に通ったにも関わらず、初回から履修放棄するようなことも避けてください。

「必修科目」と「選択必修科目」の別にも注意してください。特に、必修科目は、履修申請すべき曜日・時限が指定されており、履修申請上の自由度はありません。もし、単位を落とすことがあれば再履修となり、次年度の時間割作成が窮屈になってしまいます。もっとも、必修科目・選択必修科目を問わず、単位は計画的に、着実に積み重ねていくべきです。

2. 共通教育の教育目標と編成・実施方法

令和6年度入学の皆さんにとって、ある「教養教育科目」が「地域志向科目」であるかどうかは、卒業に影響を及ぼしません。地域のことを重点的に学びたい場合の指針にすればよいでしょう。ただし、全学的教育プログラムである「地域人材育成プラットフォーム」（後述）の修了を目指す場合には、地域志向科目2単位の修得が必要となります。

関連ページ

共通教育
履修案内

P.1

関連ページ

共通教育
履修案内

P.2~3

3. 授業を受ける前に知っておくこと

授業方法に応じた学修時間を確認してください。授業の方法によらず、大学では1単位あたり45時間の学修時間が求められており、決して授業時間だけが学修時間なのではないことを理解しましょう。予習・復習の習慣化は必須です。

4. 共通教育科目の履修基準

1単位を得るために必要な学修時間が定められていることから、履修申請できる単位数には上限が設けられています。これをキャップ制と呼びます。学部ごとにキャップとなる単位数が異なりますので、確認してください。

また、共通教育科目卒業要件単位数は極めて重要な情報です。正確に理解したうえで、卒業要件単位数を満たせるように、共通教育の履修計画を立ててください。

注意事項：特殊な位置づけの高度共通教育科目

共通教育科目の中には、初年次教育科目、グローバル教育科目、教養教育科目のいずれにも該当しない「高度共通教育科目」という特殊な科目が用意されています。教育内容は、専門教育科目相当とされています。詳細については、『共通教育履修案内』の37ページを確認してください。

高度共通教育科目は、2年生以上を受講対象者とする共通教育科目です。ただし、各学部で指定されている共通教育科目卒業要件単位数の枠組みには含まれません。しかし、学部によっては、専門教育の卒業要件単位に参入できる場合があります。不明な点は、所属学部にご相談してください。

なお、高度共通教育科目は、地域人材育成プラットフォームを構成する「プログラム・コア科目」、「プログラム・スキル科目」の一部、「実地体験事前演習」、「実地体験」、「プログラム修了演習」が該当します。つまり、地域人材育成プラットフォームを受講したい人にとって重要な枠組みです。地域人材育成プラットフォームは、学部を問わずだれでも挑戦できる全学的教育プログラムなので、関心のある人はぜひ受講してください。詳細については、パンフレット等で確認してください。

5. 共通教育の教育科目と単位の取り方

皆さんが時間割を作成するための、基本情報がまとめられています。新入生対象のガイダンスが各学部で開催されますが、ガイダンス受講前に熟読し、理解しておくことを推奨します。

『共通教育履修案内』の内容を理解してください

少なくとも「Ⅷ 履修手続」までは、早めに理解してください。ガイダンスから履修申請までの時間的余裕がなく、考え抜かれた時間割を作成するためには、必要な作業だといえます。

なお、本冊子で解説した事項は共通教育を対象としています。専門教育については、各学部の規則、説明に従ってください。

関連ページ



P.4~7

関連ページ



P.8~11

関連ページ



P.12~32

学びを知り、地域を知り、世界へ発信する教育

大学での学びを実りあるものにするためには、自ら積極的に学ぶ姿勢だけでなく、他者と共に学ぶ姿勢とが重要になります。そのような姿勢を身につけるための基本となる科目が、「初年次セミナーⅠ」と「初年次セミナーⅡ」です。いずれの科目も、文系と理系の学生から成る少人数クラスで授業を行い、グループ学習などを取り入れたアクティブ・ラーニングにより、クラスメートと共に学びながら、口頭発表能力(特にプレゼンテーション能力)や文章表現能力(特にレポート作成能力)を向上させるものです。



写真1：屋久島の環境文化Ⅱ

鹿児島大学は、地域とともに社会の発展に貢献する総合大学を目指しています。「大学と地域」という科目では、地域の課題を知ると共に地域において大学が果たすべき役割について理解を深めます。また、様々な地域志向科目を通して、地域社会の課題について検討する能力や解決する能力を育成していきます。なお、地域志向科目では、現地で研修を行う科目も開講されており、その中には、世界遺産に登録されている屋久島で行う集中講義「屋久島の環境文化Ⅰ～Ⅳ」(写真1)や県内の他大学等の学生と共に学ぶ科目もあります。

さらに、現在、地域社会の課題は、地球的課題に密接に繋がっています。私たちが直面している気候変動や生態系の破壊、コロナ禍などの複雑な課題の解決には、地域や地球全体、異文化間で生じる課題をよく検討し、他者のものの見方や世界観を理解・尊重する能力、また、異なる文化に属する人々と開かれた適切で効果的な交流を行い、持続可能な開発と全世界の人々の心身の健康保持に向けて行動する能力が必要です。これらの能力



写真2：海外研修基礎コース in ハワイ 2020年度2月実施

を養うため、コミュニケーション能力を「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を統合して高める「英語」、異なる文化への理解を深め、多様な価値観を学ぶ「異文化理解入門」、また、教養活用科目では、海外大学生とオンラインで学ぶ科目や海外大学が行うオンライン研修科目、海外で短期研修を行う科目(写真2)が開講され、様々な国の学生との協働学習や海外実地体験から、これからの世界と地域に貢献できる能力を育成します。

先輩からのメッセージ

1年生の皆さんご入学おめでとうございます。私は2年生の夏休みにベトナムでの海外研修に参加しました。私はこの研修で異文化体験と専門分野を超えた学び、学部・学年を超えた仲間との思い出を得ることができました。研修では、現地の学生との交流を通して異文化への理解を深め、他分野の仲間の考え方や関心を知ることによって多くの学びや新たな発見を得ることができました。また、高い目的意識を持った素晴らしい仲間と長く続くであろう関係性を築くこともできました。大学で過ごす時間は思っているよりも短いです。だからこそ、いかに行動するかで経験値は変わっていきます。鹿児島大学には様々なプログラムとサポートして下さる先生方がいらっしゃるの、最初から無理だと決めつけず、自らの可能性を信じてたくさんチャレンジしてみてください。



工学部 3年
平山 咲月

外国語教育

「グローバル教育科目」の中で英語と異文化理解を学び、「教養教育科目(教養基礎科目)」の中でドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の初修外国語を学びます。

(1) 地球規模の視野と「英語」：国際共通語の活用

大学で英語を学ぶにあたり二つの留意点があります。1) これまでの森羅万象に関わる学習を鵜呑みにせず、国際共通語としての英語で点検、整理すること。2) 学部や学科に関わる自らの学習成果を国際共通語としての英語で表現すること。自らの母語でしっかりと考えることと同時に、国際共通語としての英語を活用することが求められています。その学習成果の一端を英語外部試験で測ります(読解と聴解)。この試験は1年次に前後期に一度ずつ予定されています。また作文と発話の力も落とさず高めていく努力を忘れてはなりません。年に一回程度、英検やTOEIC公開テスト(学内割引有り)に挑戦するのもよいでしょう(詳細は、本学ホームページ参照)。

(2) 「異文化理解入門」と「初修外国語」：未知の言語や文化を知る絶好の機会

大学生活という新しい節目に立った今こそ、地球規模の視野をもちながら、近隣アジア諸国や西欧の地域にも目を向け、「グローバル」なプラスαの実力を得る機会です。「異文化理解入門」でドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の特徴や日常表現、それらの言語圏とイスラムの各文化圏について学び、それを手がかりに、教養基礎科目で開講される当該外国語や異文化関連の科目を学んでいきます。

(3) LOL (Language Out Loud) 外国語ラウンジ：自主的に外国語学習や異文化交流ができる空間

外国語学習は、単に教室で机に向かって勉強するだけでは成り立ちません。日常的に外国語が使える、外国の人々や文化に触れられる場として、LOL (Language Out Loud) 外国語ラウンジという自律的外国語学習施設が用意されています(共通教育棟2号館1階の学生交流スペース)。コミュニケーションを中心に英語(TOEFL対策コースを設置)、韓国語、中国語を楽しく学べます。チャット、アクティビティー、イベントなど様々な活動があります。気軽にLOLに参加してください。令和3年度はZoomにて行いました。

先輩からのメッセージ

新生生の皆さん、ご入学おめでとうございます。早速ですが、大学からの英語にどんなイメージを抱いているでしょうか。TOEICやTOEFL等の資格を取る、留学するなど、いままでの受験勉強での英語よりも、より実践的で「使う」ことを重視した英語がイメージできるのではないのでしょうか。それを踏まえると、実際に英語をじゃんじゃん使って会話をするような機会を設けることが、「使う」英語を伸ばすうえでとても大切だと考えられます。例えば、LOL(Language Out Loud)という、授業とは別に参加でき、英語を話してみたい仲間と会話やゲームを楽しみながら英語を使える機会があります。また、英語以外の外国語の講義を取ることで、留学生と英語で会話をする機会が得られます。ぜひこれらの機会を進んで取り入れ、楽しく英語を学んでみてはいかがでしょうか。



共同獣医学部 2年
田口 加紗音

学修達成度を測るGPA制度

共通教育センターでは、GPA制度を導入しています。この制度は、履修科目の単位を修得したかどうかではなく、当該期・年間または通算の学修達成度(GPA)がどの程度であるかを見ることができます。GPAを高く保つため、履修科目を放棄したり、低い評価で修得したりすることがないように頑張りましょう。

共通教育センター長賞 一成績優秀者の表彰制度一

共通教育科目の卒業要件を満たした第3期(医学部医学科、歯学部、共同獣医学部では第2期)終了時で、特に優秀な成績(GPA)の各学部上位2名の学生に対して、共通教育センター長賞が授与されます。

○ **[Question]** TOEICや英検などの資格を単位として認定してもらえるの?

[Answer]
TOEICや英検に限らず、規定により単位が認定されることがあります。詳しくは、履修案内p.19、p.22を見てください。

○ **[Question]** そもそもGPAとは何の略ですか?

[Answer]
グレード・ポイント・アベレージの略です。履修案内のp.10とp.45~46に詳しく掲載しています。

シラバス(Syllabus)ってなに？

シラバスは、授業に関する説明書です。

シラバスは授業ごとにつくられています。そこには、授業科目名はもちろんのこと、開講時期、授業担当教員名、受講対象者、単位数、授業概要、学習目標、成績の評価基準、教科書・参考書など、いろいろな情報が記載されています。履修申請にあたり、必ず確認してください。

シラバスは、カリキュラムの中での位置づけを示すものです。

鹿児島大学の共通教育には、達成すべき教育目標があります(2ページ参照)。教育目標とは、共通教育科目の履修を終えた時に身につけているべき能力や技能を表すものです。それらは、ひとつひとつの科目の教育目標を達成することで可能になります。シラバスには、そうした教育目標を達成するために、この授業がどのような部分を担っているのかが示されています。

シラバスは、授業開始後も読むものです。

学生みなさんがシラバスを読むのは、履修登録のときが多いでしょう。どの科目を履修するかの参考にするためです。ですが、授業開始後にもシラバスは役立ちます。次の授業の内容や参考書がわかれば予習ができます。授業の目標や成績評価基準がわかれば、どのような知識や能力を身につければよいかを確認しながら学習ができます。自主的に学習を進めるための参考資料として、常に目をとるようにしましょう。

関連ページ

共通教育
履修案内

P.39

シラバスのここに注目！

初年次セミナー First-Year Seminar I			
ナンバリングコード			
開設年度	2023	開設部局	共通教育センター
学期	前期	学年	1年
履修期		授業形態	講義
科目区分	必修	単位数	2
曜日		時間	
対面/遠隔	対面および遠隔授業(対面50%以上)	授業回数	15回
担当教員			
〇〇 〇〇			
共同担当教員			
授業概要			
学習目標			
授業計画			
授業方法			
準備学習に必要な学習時間の目安			
教科書			
参考書			
成績評価方法・評価基準			
オフィスアワー			
連絡先(TEL)			
連絡先(MAIL)			
担当教員への連絡方法			
履修条件			
特になし			
実務経験のある教員による実践的授業			
特になし			
(平成28年度以降入学生)中分類			
(平成28年度以降入学生)小分類			
受講学部学科			
全学部			
<理念>重要視する教育目標			
担当教員所属			
共通教育センター			
地域志向科目の区分(平成28年度以降入学生用)			

【SDGs】

授業でSDGsの内容を設定している場合、対応する項目が記載されています。

【対面/遠隔】

授業の開講方法(対面授業、遠隔授業、対面および遠隔授業[対面 50%以上]、対面および遠隔授業[対面50%未満])が記載されています。

【授業概要】

この授業がどのような内容を扱い、どのような方法で行われるのかが記載されています。

【学習目標】

この授業を受講することでどのような知識が身につくのか、どのようなことができるようになるのかが、記載されています。

【授業計画】

授業がどのように進められるのかが、記載されています。

【授業方法(アクティブ・ラーニング)】

授業に「アクティブ・ラーニング」を導入している場合、主となる内容が記載されています。

【教科書】【参考書】

授業で使う「教科書」が指定されていたり、授業内容を補う「参考書」などが記載されています。自分で勉強していくときにとても役立ちます。

【成績の評価基準】

最終的にどのような方法で成績評価が行われるのかが、記載されています。しっかり確認しましょう。

【オフィスアワー】

授業時間外に、教員へ質問や相談を行う時間帯が記載されています。

【中分類・小分類】

科目枠組みの情報が記載されています。5つの中分類と17の小分類に分類され、学部(学科等)ごとに必要な単位が決まっています。

【重要視する教育目標】

この授業を受講することで、どのような知識が身につくのか、どのようなことができるようになるのかが、記載されています。

学生証ってどんなときに必要？



学生証は常に携帯してください

窓口での手続きや附属図書館での図書の貸し出し、試験等では、学生証の提示が必須です。また、通学定期券の購入や学割証を使用してJRの切符を購入する時など、学生証の提示を求められることがあります。

この学生証は、証明書発行機や郡元地区の自動車の入退構ゲート(許可者のみ)、中央図書館・桜ヶ丘分館や一部教室などの入退室、保健管理センターの定期健康診断受付などに利用します。また、大学生協アプリを登録の上、キャッシュをチャージすれば、鹿児島大学生生活協同組合(鹿大生協)での買い物にも利用できます。

※学籍番号の見方は、履修案内のp.4を見てください。

証明書発行機の利用について

まず、学務WEBシステムで学生カードの登録が必要です。

登録後、和文の「在学証明書」、「卒業見込証明書」、「成績証明書」、「学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)」、「健康診断証明書(異常なしの場合)」、「学生教育研究災害傷害保険証明書」が発行できます。それ以外の証明書(通学証明書等)や英文証明書などは、所属する学部の学生担当係か共通教育係に問い合わせてください。

なお、正式な学生証が配布されるまでの間は、発行機に学籍番号を手入力することで、証明書の発行が可能です。

キャンパス	設置場所	利用時間
郡 元	大学会館1階	9:00～18:00
	中央図書館1階	8:30～18:00
	教育学部第一講義棟1階	8:30～18:00
	農・獣医共通棟1階	8:30～17:15
下荒田	水産学部講義棟1階	8:30～18:00
桜ヶ丘	桜ヶ丘会館(生協)2階	8:30～18:00

(休日利用)
 ※大学会館は土のみ利用できます。
 ※中央図書館は土・日は午前10時からの利用となります。

※学務WEBシステムや証明書発行機については、学生便覧を見てください。

時間割を作成する前に

どの授業を受講するかは、皆さんにとって大変重要です。学部のオリエンテーション時に配付された「共通教育履修案内」等の資料をよく読んであらかじめ自分が受講すべき授業や受講したい授業を厳選し、シラバスを確認のうえで、履修申請表(ワークシート)作成の準備をするようにしてください。

まず、オリエンテーションでしっかり説明を聞いてください。わからないことがあったら、共通教育課共通教育係の窓口にご相談してください。

履修申請書(ワークシート)作成については、次ページからの「時間割を作成してみよう!」の手順に従って作成することとなりますが、本学ホームページにも情報を掲載しています。以下の手順で、本学ホームページにアクセスしてください。インターネットにつながったパソコンであれば、どこからでもアクセスできます。

- ① 鹿児島大学のホームページを開く。
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>
- ② 「在学生」をクリックする。
- ③ 「共通教育」の「新入生の皆さまへ」をクリックする。
- ④ 画面に記載された内容を確認する。
(行事予定、履修登録の手順、履修上の注意、シラバスの閲覧方法を掲載)



時間割を作成してみよう!

大学では、高校までと違い、自分で履修する科目を決め、時間割を作成しなければなりません。履修案内やシラバスをよく読んで、履修申請表を使って自分だけの「オリジナル時間割表」を作成してみましょう。

この「オリジナル時間割表」に組み込んだ科目を、各自がコンピュータで登録する作業を「履修登録」と呼んでいます。

ここでは、4月1日(月) から4月16日(火) までのスケジュールを、簡単に説明していきます。

関連ページ

共通教育履修案内

P.81~82

4月1日(月)以降

1 履修案内を開く



「令和6年度入学生共通教育履修案内」を開いてみましょう。p.11に「卒業要件単位数」について解説してあります。自分が卒業までにどの科目を何単位修得しなければならないのか確認しましょう。

2 授業時間割表を見る

「令和6年度入学生共通教育履修案内」のp.81の「令和6年度入学生授業時間割表」を開いてみましょう。そして、自分の所属する学部・学科がどこに記載してあるかを確認しましょう。

3 開設授業科目表を見る

「令和6年度前期開設授業科目表」は、曜日・時限ごとにどのような科目が開講されているのかを示す一覧表です。この「開設授業科目表」と、履修案内に添付してある「共通教育授業科目概要」や次に示す「シラバス」をうまく使うと、時間割が立てやすくなります。

4 Web上でシラバスを検索する

次に、鹿児島大学のホームページの在学生(教育関係各種システム)の「鹿児島大学シラバス」で知りたい科目をチェック。

授業時間割表を見ながら、自分の空き時間に開講している授業科目のうち、どの科目を選択するか判断基準として、このシラバスを有効活用してください。

5 履修申請表(ワークシート)を作成する

「履修申請表(ワークシート)」に自分が受講を希望する科目を記入していきます。

6 各学部オリエンテーションに出席する

各学部で開催される「オリエンテーション」に出席しましょう。学部・学科ごとに、専門分野に関連してどういった科目を受講すべきかのアドバイスなどがありますので、必ず出席してください。

7 履修申請表(ワークシート)の修正を行う

オリエンテーションで受けたアドバイスを頭に入れて、作成した履修申請表(ワークシート)を見直してみましょう。間違っていたときは修正を行いましょう。

4月3日(水)～4日(木)

8 履修申請を行う

作成した「履修申請表(ワークシート)」を基に、PCやスマートフォンを使って、履修登録システムから履修する科目を入力しましょう。

※1回目の履修申請までの時間が限られています。集中して準備しましょう。



9 履修登録科目の確認を行う

PCやスマートフォンで履修登録の確定処理を行った後、登録した内容が正しく登録されているかを確認してください。

4月8日(月)

10 履修申請の追加

4月3日(水)～4日(木)に履修申請ができなかった学生や、受講制限などにより履修登録後「抽選もれ」した学生のために、入学式後の13時～16時の間、再度履修登録をすることができます。インターネットにつながるPCであればどこからでも履修登録を行うことができるので、履修登録内容を確認のうえ、必要に応じて追加登録を行ってください。

4月9日(火)

11 授業開始

さあ、いよいよ
大学での授業の
スタートです!

共通教育科目の授業教室の確認は、共通教育の掲示板に「授業教室一覧」を掲示しますので、授業前までに確認してください。また、鹿児島大学ホームページ(在学生)の共通教育(開設授業科目表・授業教室一覧)でも確認することができます。

関連ページ

共通教育
履修案内

P.39～43

大学生の基礎知識

4月中旬

12 履修受付確認表で確認

履修受付確認表は学務WEBシステムで確認してください。(確認できる期間は別途案内します。)

4月15日(月)～16日(火)

13 履修申請の変更を行う

前期の授業は4月9日(火)から開始されますが、1回目の講義を受講してみて、変更したい場合や、抽選もれ等があった場合は、この日に変更を行うことができます。

以上が「履修申請」 方法の概要です。

詳細はオリエンテーション資料配付時に受け取った封筒(新入生関係資料)の中の「令和6年度新入生オリエンテーション資料(共通教育)」というプリントに目をおしてください。

さあ、がんばって始めてみよう!

共通教育係から

時間割の組み立て方や履修申請等で、理解できない点、疑問に思う点があれば自分勝手な判断をせずに、必ず共通教育係窓口へ相談しましょう。誤った判断で履修申請をしてしまうと単位が認められないこともありますので十分注意してください。履修申請期間は、窓口が大変混雑しますので、自分の相談したいこと、質問したい内容をよく整理して相談してください。



鹿児島大学IDと学内の情報システム



鹿児島大学ID

鹿児島大学に入学すると「鹿児島大学ID」が個人ごとに発行されます。鹿児島大学IDは、英小文字のkで始まる8桁の番号で、学籍番号とは異なります。鹿児島大学IDは下記のように様々なシステムで使用しますので、忘れたりパスワードを他人に知られたりすることがないように、しっかりと管理してください。パスワード変更等の手続きは、「鹿児島大学IDマイページ」へアクセスし、オンラインで行えます。

- ・教室のPC・無線LAN・kadaiメール・Office 365 学生使用特典の利用
- ・附属図書館「My Library」の利用（貸出状況確認、貸出更新処理、施設予約、学外からの文献取寄申込など）
- ・学習支援システム（manaba）・履修登録・学務Web・定期健康診断・健康診断証明書発行などの利用
- ・専門ソフトウェアのダウンロード・VPN（Virtual Private Network）接続



教室PC

学内のいくつかの教室には、鹿児島大学IDで利用できるPCが設置されています。授業がない時間帯は自習に使えますので、下記の注意事項を守り、履修登録やレポートの作成などに活用してください。

- ・機器は丁寧に扱い、教室内で飲食を行わないこと（汚れや機器故障の原因になります）
- ・窓は開けないこと（火山灰や風雨から機器を守るためです）
- ・法律や大学の規則を順守すること
- ・教育研究目的以外に利用しないこと



【主な教室の自習利用可能時間】※これ以外の教室にも設置されています

情報基盤統括センター	第1～第4端末室	平日 8:30～21:00 土日 13:00～18:00 祝・祭日 閉館
共通教育棟 1号館	123・134～137号教室	平日 8:30～18:00
附属図書館	中央図書館・水産学部分館	各図書館開館時間



無線LAN環境

学内の講義室と、交流スペースを中心に、無線LANアクセスポイントが設置されています。設置場所周辺では、無線LANに対応した機器を使って、インターネット接続サービス(eduroam)が利用できます。利用のためには、鹿児島大学IDとパスワードが必要です。



kadaiメール

新入生全員に、個人用のメールアドレス「kadaiメール」が発行されます。アドレスは、鹿児島大学ID+@kadai.jp（例 k1234567@kadai.jp）となっており、変更はできません。kadaiメールのシステムは、マイクロソフト社の「Office 365 Education」によって提供されています。

安否情報システム【ANPIC】について

本学では、地震や自然災害など大規模な災害が発生した際、学生及び教職員の安否をいち早く知り、組織として迅速に対応するために、インターネットを活用する安否情報システム【ANPIC】（アンピック）を導入しています。

<安否情報システム【ANPIC】の概要>

鹿児島県、熊本県、宮崎県で震度6弱以上の地震を気象庁が感知した際、事前に登録した職員の携帯電話やパソコンに自動で安否確認メールが送信されます。受信者は受信した端末を使用し、安否状況や現在地、コメント等、簡単な入力操作によって自身の安否状況を報告するシステムです。

なお、地震以外の大規模災害については、システム管理者から手動で安否確認メールを送信します。

PCやスマートフォンで
アクセス



ログインには鹿児島大学IDが必要です。

-
- 鹿児島大学統合認証システム
- 1 鹿児島大学ID / 旧学術情報基盤センター利用者のID
- 2 パスワード
- ログイン

ログイン画面



□グインするとコース一覧が表示されます！

The screenshot shows the homepage of the Kyushu University English Language Center. The header features the university's logo and name in both Japanese and English. Below the header, there is a navigation bar with links such as 'HOME', 'ABOUT US', 'CONTACT', and 'ENGLISH LANGUAGE CENTER'. The main content area is titled 'English Language Center' and contains a list of courses and a sidebar with contact information. The sidebar includes a 'CONTACT' section with a phone number and an email address, and a 'LOCATION' section with a map and address. The main content area has a 'COURSE' section with a list of courses and a 'CONTACT' section with a phone number and an email address.

[illegible]

未提出課題画面

窓口・掲示板・共通教育係からのお願い

皆さんが主に1～2年生で学ぶ共通教育科目の履修・成績に関する業務・相談は、共通教育課共通教育係で行っています。

専門教育科目等、学部に関することは、学部の窓口で確認しましょう。

(学部の窓口は、学部オリエンテーションでも確認してください。下記に連絡先を紹介します)

共通教育係は、共通教育科目に関するメール連絡や通学証明書の発行を行っています。

休講や補講など重要な情報をメールで連絡するため、学務WEBシステムで学生カードのデータ入力が必要です。必ずPCやスマートフォンから登録してください。証明書発行機を使用するためにも登録が必要です。

他には、構内での落とし物も預かっています。共通教育係の窓口に遺失物棚がありますので、そこに届いているか確認してみてください。各学部学生係や大学会館などにも届けられていることもあります。記名があると、自分の手元に届きやすいです。

掲示板は 重要なお知らせツールです (※裏表紙の地図参照)

- 期末試験の日程表など、重要事項を掲示しますので、必ず定期的に掲示板を見るようにしてください。
- 集中講義については、掲示で募集内容・方法などを発表しますので、前期・後期とも見逃すことがないようにしてください。
- 掲示は、必ず自分自身の目で確認してください。
- メールや鹿児島大学ホームページでも周知しますので、確認するようにしてください。

共通教育係からのお願い

- 提出書類を出すときなど、共通教育係の指定する日に窓口に来られない場合は、事前に相談してください。
- 大学内で盗難事件が多発しております。貴重品などは、必ず肌身離さず所持してください。



窓口のオープン時間 (8:30～17:00 土日、祝日および年末年始等の大学の休業日は休み)

○共通教育係(各学部担当)の窓口

法 文 学 部	099-285-3129	教 育 学 部	099-285-3129	理 学 部	099-285-3454
医 学 部	099-285-3454	歯 学 部	099-285-3454	工 学 部	099-285-8830
農 学 部	099-285-8825	水 産 学 部	099-285-8849	共同獣医学部	099-285-8825

○各学部(専門教育担当)の窓口

学部で学ぶ専門教育科目に関することなどは、以下の各学部の窓口で確認しましょう。

法 文 学 部	099-285-7525	教 育 学 部	099-285-7713	理 学 部	099-285-8025
医 学 科	099-275-5130	保 健 学 科	099-275-6725	歯 学 部	099-275-6040
工 学 部	099-285-3269	農 学 部	099-285-8550	水 産 学 部	099-286-4252
共同獣医学部	099-285-8531				

各学部オリエンテーションでも説明がありますが、皆さんにはクラス担任教員が配置されます。クラス担任教員は、「共通教育履修案内」のP55～P57でも確認することができます。

○奨学金、授業料免除、サークル活動、学生寮などの窓口

・奨学金	学生生活課経済支援係(奨学金担当)	099-285-7329・8154
・授業料免除	学生生活課経済支援係(免除担当)	099-285-7033・7312
・サークル活動	学生生活課学生企画係	099-285-7320・7322
・学生寮	学生生活課学生企画係	099-285-7340

○情報セキュリティ、PC等・鹿児島大学ID等の問合せ窓口

情報基盤統括センター <https://www.cc.kagoshima-u.ac.jp/>

・情報セキュリティに関する相談・通報

サイバーセキュリティセンター TEL.099-285-8985 メール:ku-csirt@cc.kagoshima-u.ac.jp

・PC等の基本操作、鹿児島大学ID等、IT相談

IT相談室 TEL.099-285-7869 メール:info@cc.kagoshima-u.ac.jp

成績不振者への助言・指導について

共通教育センターでは、每期成績発表後に、当該の学期GPA値が1.5未満、第1期の修得単位数が10(歯学部は15)単位未満、第2期の修得単位数が6単位未満の学生(成績不振の学生)に対して、学部で定めた基準等により、クラス担任等による面談方式の指導・助言を行っています。

成績不振が改善されないと、繰り返し助言・指導を受けることになります。

成績等開示請求及び異議申立て

共通教育科目における成績評価などについて、開示請求ができます。また、授業等における成績判定などについて異議がある場合、異議申立てができる制度もあります。詳しくは履修案内のp.48を見てください。

再試験の結果について

成績判定は次の学期に行われるため、本試験が行われた期の進級・卒業判定の単位としては算定されませんので、特に注意してください。

関連ページ



附属図書館

附属図書館は、中央図書館（全分野の資料を所蔵）、桜ヶ丘分館（医学図書館：医学、歯学、看護関係資料を所蔵）、水産学部分館（水産学図書館：水産学関係資料を所蔵）の3館で構成されており、皆さんはどの図書館でも利用することができます。

※中央図書館・桜ヶ丘分館では入退館システムを導入していますので、入退館時には学生証が必要です。必ず携帯してください。

附属図書館HP



【開館時間】

		月～金	土	日	祝日
中央図書館	通常期	8:30～21:30	10:00～18:00	10:00～18:00	休館
	休業期	8:30～17:00	10:00～18:00	休館	休館
桜ヶ丘分館		8:30～21:30	10:00～18:00	10:00～18:00	10:00～18:00
水産学部分館	通常期	8:30～20:00	10:00～17:00	休館	休館
	休業期	8:30～17:00	休館	休館	休館

開館日・休館日の詳細は附属図書館ホームページをご確認下さい。

資料の利用

館内には図書、雑誌（電子版含む）、新聞などの資料があります。図書や雑誌を借りる際は、学生証が必要です。資料の一部コピーが必要な場合は、館内で複写できます。

資料の探し方・学外からの取り寄せ

資料の配置はフロア案内をご覧ください。「まなぶた Search」であらゆる種類の資料を探せるほか、蔵書検索システムや、雑誌記事・新聞記事を探せる専門のデータベース等、資料を探すのに役立つツールを多数提供しています。また、学内にない図書や雑誌については、他大学図書館から複写物や資料の現物を有料で取り寄せることができます。

学習環境

閲覧席で学習できるほか、プロジェクター付ホワイトボードがあり、グループでのディスカッション・プレゼンテーションなどができるラーニングcommonsや小人数で話し合いながら学習ができるアメニティールーム・グループ学習室があります。また、パソコンがありますので、インターネットでの情報収集、レポート作成などに利用できます。なお、3館で無線LANが利用可能です。

調査・相談・利用者講習会

資料や情報収集、レポート作成の支援や図書館の利用などについて分からないことがあれば、気軽にカウンターでお尋ねください。

図書館の利用法、資料の探し方などの講習会を利用者の要望に応じて随時開催しており、カウンターや図書館HPで申込を受付けています。



▲アメニティールーム



▲ラーニングcommons

先輩からのメッセージ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。附属図書館では、あらゆる分野の書籍や様々な年代の論文、雑誌、新聞記事など多数の資料を所蔵しています。また、図書の閲覧や貸出だけでなく、学習用のスペースとして、研究個室やグループ学習室、ラーニングcommonsなど、それぞれの学びのスタイルやニーズに応じた学習環境を提供しています。

初めは、膨大な数の資料を前に自分の求めている本を探し出すことに戸惑うことがあるかもしれませんが、しかし、蔵書検索システムや専門のデータベースなど、様々なサービスが皆さんの探究心を手厚くサポートします。不明な点や困ったことがある場合は、職員の方々が丁寧に対応してくださりますので、ぜひご相談ください。皆さんにとって、図書館が日々の学習から試験勉強、趣味や教養としての読書まで、幅広い目的で利用していただき、新たな本と出会える場になることを願っています。



理学部 3年
窪山 秀雲万

男女共同参画推進センター



<https://www.kagoshima-u.ac.jp/atsumi/>

【連絡先】電話：099-285-3012

Email：gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp

男女共同参画社会とは、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会」です。

鹿児島大学は、「鹿児島大学男女共同参画基本理念」に基づき、教職員のライフワークバランス支援、若手研究者や女性研究者が活躍しやすい環境の整備等に取り組んでおり、男女共同参画推進センターのホームページやNewsletterで紹介しています。また、共通教育科目に男女共同参画関連の科目も開講しています。男女共同参画に関心を持ち、自分らしく、よりよい学生生活を送りましょう。

鹿児島大学男女共同参画基本理念 （平成22年1月21日制定）

鹿児島大学は、大学憲章の精神に則り、教育・研究機関として男女共同参画のもとに社会貢献を続けることができる人材を育成・支援し、個々を尊重するとともに、一人ひとりがあらゆる場面において個性と能力を発揮できる大学を実現します。

「一人ひとりが伸びやかに、
自分らしく輝くために」

保健管理センター

<https://hsc.kuas.kagoshima-u.ac.jp>

場所 事務局西隣(裏表紙地図参照)
桜ヶ丘キャンパス保健学科東研究棟 1 階(桜ヶ丘分室)

電話 099-285-7385
099-275-6348(桜ヶ丘分室)

1 保健管理センターは何をすることでですか？

高校でいえば保健室ですが、診療所の認可を受けています。主に学生の皆さんへの定期健康診断の実施とその後の指導、毎日の一般診療、禁煙相談、こころの健康相談などを行っています。また、新型コロナウイルスやインフルエンザなど、感染症対策の中心的役割も担っています。

2 診療時間は決まっていますか？

内科は、原則月～金で、時間は9時～11時、14時～16時です。
その他の診療科は、それぞれ曜日、時間が異なりますので、ホームページの「診療・相談時間」の欄を見てください。

3 こころの健康相談とはどのようなものですか？

学生生活を送るうえでの悩み等、誰かに聞いてほしいと思ったら相談にお越しください。医師やカウンセラーがお話を伺います。
お申し込みは原則、予約制(電話・メール等)となっています。



医師、保健師等が常時勤務し、皆さんの利用を待っています。

保健管理センターから お伝えしたいこと

- ・タバコの煙は大切な命を奪います。
- ・“安全でない”セックスは大切な命を奪います。
- ・薬物(ドラッグ)の不正使用は犯罪です。
- ・一気飲みはしない、させない。
- ・‘いじり’も‘いじめ’も被害者にとっては同じです。
- ・受けた人に被害感があれば、それはハラスメントです。
- ・定期健康診断を受けましょう。

障害学生支援センター(修学支援室)

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/syogaku/>

場所 共通教育棟 1 号館 2 階(修学支援室)

大学生活につまづきを感じている学生や障害のある学生からの、修学に関わる相談に応じます。支援要請に基づき、ひとりひとりのニーズに応じた支援計画を作成します。教職員や保護者の方の相談も可能です。

**「誰もが自分らしく学びあう」ことを
サポートいたします。
お気軽にご相談ください。**

相談時間

9時～17時(月曜日～金曜日)

直接相談

共通教育棟 1 号館 2 階修学支援室に直接お越し下さい。
(状況に応じて遠隔での面談も実施しています。ご相談ください。)

電話での申込み

☎099-285-3287

Eメールでの申込み

learning-support@km.kagoshima-u.ac.jp



学生何でも相談室

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/soudan.html>

場所 共通教育棟 1 号館 2 階(裏表紙地図参照)

**学生みなさん、保護者のみなさん、
学生生活で何か困っていること、
悩んでいることはありませんか？**

学生生活を送る上でのさまざまな問題や悩み、迷いに対する相談窓口として、「学生何でも相談室」があります。まず、学生生活課職員が対応し、相談内容に応じて相談員(各学部学生生活委員会委員)や相談室長(理事(教育担当))、保健管理センター、障害学生支援センターとも連携しながら対応します。

ひとりでは悩むより、よりよい解決策が見つかるかもしれません。
相談の内容について個人の秘密は守りますので、気軽に利用してください。

相談時間

8時30分～17時(土・日曜日、祝日と年末年始は休み)

直接相談

「学生何でも相談室」にいつでもお越しください。
必要に応じて、相談員の教員と調整を行います。

電話での相談

☎099-285-7311

Eメールでの相談

soudan@kuas.kagoshima-u.ac.jp

手紙での相談

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21-30
鹿児島大学学生部学生生活課「学生何でも相談室」宛



グローバルセンター

<https://www.gic.kagoshima-u.ac.jp/>

場所 共通教育棟1号館4・5階 (裏表紙地図参照)

電話 099-285-7017

海外留学説明会

- 海外研修報告会
- 派遣留学・トビタテ!留学JAPAN説明会等
- 個別留学相談(随時・予約制)



**出身地・文化を超えて、
ともに学び、話し、遊び、キャンパス
の交流で世界を拓きましょう!**

グローバルセンターは、海外活動に興味のある学生に、必要な教育、指導助言を行っています。

学内での異文化・言語交流活動

- インテンシブイングリッシュ
課外英語学習
- ランチタイムテーブル
日本語・外国語での交流会
- 留学生サポートスタッフ
学生スタッフによる留学生支援活動

高等教育研究開発センター

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/higheducenter/>

場所 共通教育棟1号館5階 (裏表紙地図参照)

連絡先 email : ksuisin@kuas.kagoshima-u.ac.jp

電話 : 099-285-8826・3705

高等教育研究開発センターは、学生の皆さんが大学で学ぶためだけでなく、社会で活躍するための基礎となる能力をきちんと身に付けるためのカリキュラムや学習支援方法について研究・開発を行っています。また、地域で活躍する人材を育成するための学部横断型教育プログラムである「地域人材育成プラットフォーム」の運営を担当しています。

**大学での学び方と「地域人材育成プラットフォーム」
に関する質問はこちらへ!**



キャリア形成支援センター

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/job/>

場所 共通教育棟1号館1階 (裏表紙地図参照)

開室時間 8時30分～17時15分 (土・日曜日、祝日と年末年始は休み)

電話 就職・キャリア形成に関すること 099-285-7341・7321

インターンシップに関すること 099-285-7053

資料 求人ファイル、会社四季報、就職関係書籍、鹿大生による就職試験結果報告書、

教員・公務員採用試験過去問題集、就活DVD、日本経済新聞 ほか

**学部や学年を問わず、皆さんの
キャリア形成をサポートします!**



キャリア形成支援センターでの主な支援

- 求人・就職情報の提供
- キャリア・就職相談(毎日:事前予約制)
- 東京学生宿泊施設の予約受付
- キャリア形成支援センターHPから求人情報の検索も可能
- 就職活動関係のビデオ、DVDを視聴可能
- 学生用個室ブース貸出
- 就職ガイダンスや各種支援講座、企業セミナー等の開催
- インターンシップ情報提供・相談
- 既卒者の支援

ボランティア支援センター

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/volunt/>

場所 共通教育棟1号館1階 (裏表紙地図参照)



**ひとりひとりにあった
ボランティア活動を
紹介します!**

ボランティア支援センターには、外部からのボランティア募集情報やボランティア関連の参考書籍などもありますので、興味がある人はいつでもお立ち寄り下さい。初めての学生でもボランティア活動ができるようサポートします。

また、ボランティア支援センターのHPでは随時ボランティア登録を受け付けています。ボランティア登録をすると、ボランティア情報を直接メールで受け取ることができ、あなたに合ったボランティア活動を見つけることができます。

開室時間 9時～16時

※13時～14時は除く (土・日曜日、祝日と年末年始は休み)

電話 099-285-3147

E-mail volunt1@kuas.kagoshima-u.ac.jp



キャンパスウォーク

皆さんがさらに充実した学生生活を送るのに欠かせない施設や活動などを少し紹介します。

●学生交流スペース

皆さんが自由に学習し、コミュニケーションを図るためのスペースが共通教育棟や稲盛アカデミー、各学部、中央図書館など随所にあります。



学生交流スペース(1号館)



●LOL外国語ラウンジ

日常的に外国の人々や文化に触れられる場として、LOL外国語ラウンジが共通教育棟2号館1階にあります。



●鹿児島大学生協同組合(鹿大生協)の活用

鹿大生協は、キャンパスライフの多くの場面で役立っています。

学食: 中央食堂、郡元南食堂(エデュカ)、学生会館(ガロア)、学習交流プラザ1階(フードコーナー)



中央食堂

※お得なミールカードを発行して、皆さんの食生活をサポートしています。

ライフサポート・スタディサポート: 書籍、弁当、日用品などを扱っています。また、旅行や保険なども手配しています。

<http://kyushu.seikyou.ne.jp/ku-coop/>

●学習交流プラザ

グループ学習室や飲食しながら学習ができるラウンジなどがあり、多様な学習形態に対応した施設となっています。

開館時間: 8時30分~21時

休館日: 日曜日、祝日、年末年始

●稲盛記念館

ITコンセントを利用できる席があるITプラザやフードコート・レストランがあり、学生・教職員が日常的に集うことができる施設となっています。

開館時間: 10時~17時

休館日: 日曜日、祝日、年末年始

●サークル・課外活動

約130サークルが、学生サークル会館を中心に活動しています。

※学生便覧の「@課外活動」をご覧ください。

毎年11月に開催される「鹿大祭」は、活動の総決算の場で、模擬店、展示、ライブ、講演会などの企画をととして、学生だけではなく、卒業生、市民との交流の機会の場になっています。



●災害発生時避難場所

稲盛アカデミー棟は玉利池西側
共通教育棟1号館・2号館は進取の気風広場
共通教育棟3号館・4号館は建物南側
第2体育館は体育館入口前方広場

CAMPUS MAP



4F	研究室・実験室
3F	331号・実験室
2F	321～325号・実験室
1F	311～314号・実験室

共通教育棟3号館



5F	研究室
4F	研究室
3F	431号・432号
2F	421号
1F	研究室・実験室

共通教育棟4号館



掲示板

授業、試験などの重要な事を掲示するので毎日1回は必ず見ること



共通教育棟1号館

5F	国際事業課留学生係・グローバルセンター 教務課・高等教育研究開発センター
4F	グローバルセンター・Common Room1～3
3F	132～137号
2F	122～125号・学生何でも相談室・障害学生支援センター(修学支援室)
1F	※下記館内図参照

<アクセス>



郡元キャンパス

Kagoshima University Korimoto Campus



共通教育棟2号館

3F	研究室
2F	研究室
1F	211～217号



稲盛アカデミー

3F	研究室
2F	A21～A23号・研究室
1F	A11～A15号

